

京都における 文化財建造物の修理と伝統技術

京都府教育庁指導部文化財保護課 副課長

小宮 睦 (こみやあつし) 氏

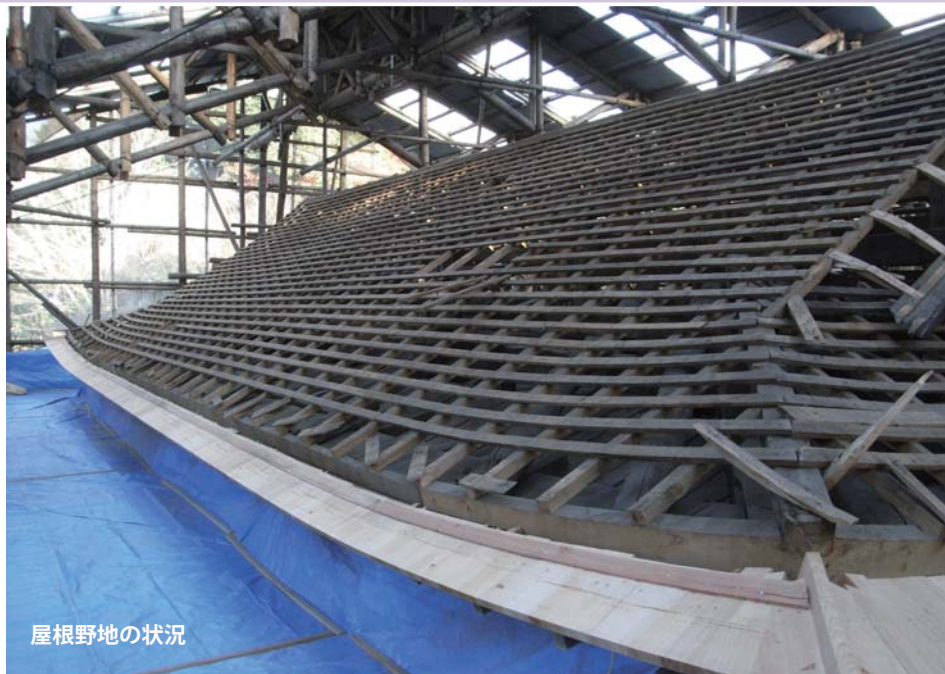


京都工芸繊維大学工芸学部建築学科卒業。京都府教育庁指導部文化財保護課に奉職。重要文化財建造物曼殊院庫裏、宝塔寺本堂、島田神社本殿、萬福寺松陰堂庫裏、清水寺本堂等の保存修理工事に従事。

日時

6月16日(土)
13:00~16:30

上甲子園キャンパス内にある甲子園会館は、フランク・ロイド・ライトの愛弟子である遠藤新による設計で、国登録有形文化財に登録されている名建築です。1930年に甲子園ホテルとして竣工し、当時は『東の帝国ホテルと西の甲子園ホテル』と並び称されました。「打出の小槌」を主題にしたオーナメントや緑釉瓦、西ホールの天井に見られる市松格子など、日本の伝統美が随所に取り入れられ、壮麗な洋風建築の空間と巧みに調和しています。2006年4月からは武庫川女子大学建築学科・大学院建築学専攻の校舎として活用されています。



屋根野地の状況



檜皮葺きの状況



鋳金具



畳小紋縁



甲子園会館



仮設素屋根

主催 **武庫川女子大学**
建築学科・建築学専攻

会場 **上甲子園キャンパス**
建築スタジオ 講評室

西宮市戸崎町1-13 JR 甲子園口駅下車 徒歩10分

入場無料・事前申込不要

問い合わせ先：0798-67-4501